

最近なにかの集まりに参加しましたか。「集」という字は、木の上に住(尾の短い鳥)が群れ止まってという会意文字で〈つどう、仲良くする、やわらぐ〉などの意味があるといえます。人は集まりの中から、多くのことを学んだり、発見したりします。でも個の生活が行き過ぎると、とにかく集まるのが疎かになりがち。この辺で、「集」の大切さをもう一度考えてもいい時期ではないでしょうか。人は木には止まれません。ですから食卓がきっと人の止まり木になるはずです。

この指止まれ。

集まると

楽しい。

人は集団の中でこそ活き輝くもの。人が集まって楽しいと感じるのは、何より話ができ人と心を通わせ合えること。日常のたわいのない話から悩みごとに至るまで人と話をする事で私たちはやすらぎ、また成長もします。自分とは違う意見を聞き励まされもすれば、嬉しかったことを喜んでくれる相手がいれば、嬉しさは倍になります。逆に苦しみは半分になります。そんな集まる楽しさや喜びを

マナーや 決まり事の意味。

与えてくれるのが食卓です。趣味の集まりやご近所の集まり、スポーツを通じた集まり、クラス会や習い事の集まり、仲の良いもの同士の小さな集まり……。そこには、きっといつも食卓がありませんか。食卓は、人の心を結びつけ、人と人の関わりを微妙に思いやりを演出します。

幼稚園や保育園、学校や職場、地域や社会など、成長に合わせて人の食卓は、家族以外との関

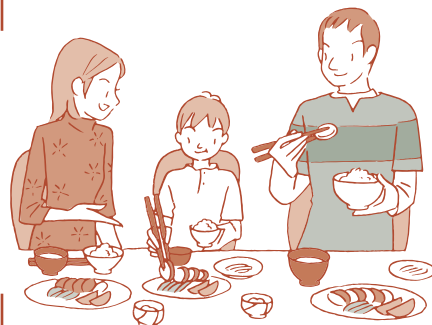
集まることで社会を学ぶ
家族という集まりは、最少単位の社会であると思います。子どもたちはその中で、たくさん学ばせてあげたい。実際の社会に適応する力を養います。家族が共に行動することが少なくなくなった現代、残された集合場所は、家庭の食卓といっても過言ではありません。だから食卓は親にとっても、数少ない大切な教育の場。食を通



して、さまざまな知識や情報を子どもたちに伝えられるチャンスです。正しい食事のマナーや安全な食品の選び方、他人への思いやりや作る人への感謝の気持ち……。集まることで社会を学ぶ。家庭の食卓をそのスタートにしてください。

シュガーレディ本社
代表取締役社長

大野悦史



いっしょに 食を楽しむ。

食は長い時間をかけて培われ築き上げられた人々の英知。様々な知恵や文化が詰まっています。

子どもたちにとって食は、好奇心と神秘、創造の宝庫。おかあさん一人にさせておくにはもったいない。共に食べるだけでなく、共につくることで、食事はもつと楽しくなります。

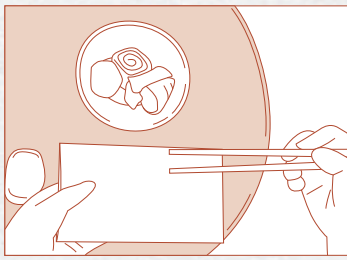
毎日とはいかなくても週末は、買い物から食事づくり、配膳や片付けまで家族がいっしょにする事で、おいしさも楽しさも家族の絆もぐんと深まります。

会話も楽しく弾ませましょう。

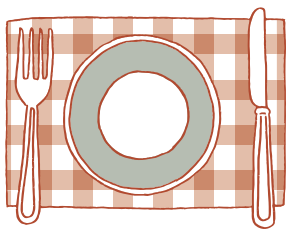
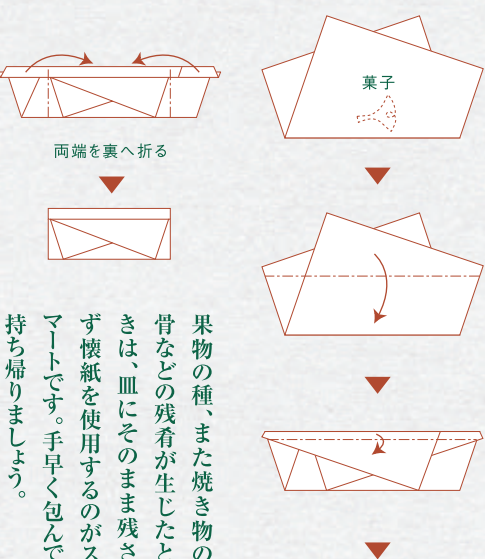
第八回 役立つ食事作法

懐紙の工夫

汁がたれるような食べ物の場合には、懐紙で受けていただきます。



残菓包み



くする機能も備わった様式美。毎日の食卓で大人はいいお手本を見せたいですね。